

都市経済常任委員会所管事項調査報告書

期 日	令和元年 5 月 9 日（木）～ 1 0 日（金）
視察先	佐賀県佐賀市
出席者	名切 文梨 委員長、高橋 豊 副委員長、遠藤 浩一 委員、 越智 一久 委員、井上 敏夫 委員、石井 芳隆 委員
随行者	青木副主幹
調査項目	佐賀市街なか再生計画及び佐賀市中央大通り再生計画について
概 要	佐賀市の中心市街地は、大きく分けて 2 つの集積地区とそれを繋ぐモールで形成されており、昔はアーケードがあり、駅から傘をささずに行けたが、大型ショッピングモールなどのロードサイドビジネスができた頃に、大型の空きビルが出て、商店街も壊滅的な状況となった。 そこで、創業 216 年の百貨店「佐賀玉屋」及び市街地再開発ビル「エスプラッツ」を拠点とし、歴史文化が残る「佐嘉神社・徴古館周辺エリア」及び街並み保存された「柳町、呉服町エリア」を加え、4 つの拠点と位置づけ、大型空きビルの再生のほか、空き家をリノベーションしテナントを入居させる仕組みや、未利用地に芝生を張って原っぱ化し、読書スペースや小休憩所等の機能を持ったコンテナを設置し集中的な集客を図る仕組みを構築し、再生に向けた取り組みをしていた。 こうした動きとあわせ、中心市街地の中心軸に当たる中央大通りエリアについては、景観のデザインルールに則った整備に対し助成するなどし、民間主導の再生に向けた取り組みをしていた。 また、4 年後に佐賀市で国体の開催を予定しており、佐賀駅から北に約 2 km にある総合運動場がメイン会場となることから、本年度実施予定の佐賀駅北口の整備に加え、国体開催までには、南口の整備も予定しており、一層の賑わい創出に向けた取り組みを実施しており、今後の厚木市の行政に大いに参考となるものであった。
主な質疑	Q 大型不動産を市で購入し、転売するという話が多く出てきたが、議会とはどのような話をしていたのか。 A 執行部で意思決定した後、議会には、外部講師を呼び何回か議論するなどし、共通認識を持っていただくよう丁寧に説明していた。 Q I T 関係の会社が佐賀市に多く進出しているようだが、何か佐賀にポイントのようなものはあるのか。 A 佐賀市は中心市街地から佐賀空港まで約 20 分の上、空港周辺には無料駐車場があり、朝 6 時に出来れば 9 時には都心に行けるほか、福岡にも 37 分で着く立地でありながら、地価が安いとため、離れた場所でも仕事ができる I T 関係の会社にとって好条件だった。